

17年度は残念ながら目標の半分…

貯金は「マイバッグ」試作に

平成十七年度の環境貯金箱作戦。ごみの量は、基準としていた平成十四年度に比べて三、四一七トンの減りでしたが、目標だった七千トンの約半分、貯金も三九四万三千元にとどまりました。

今年度は九千トンの減量と、一、〇三八万六千円の貯金が目標！ ちなみにこれまでの環境貯金は、買い物用「オリジナルマイバッグ」の試作に使うことになっています。



ごみ減量の徹底をPR！(環境貯金箱作戦街頭キャンペーンで)

環境貯金箱作戦の17年度実績と18年度目標

	基準(H14)	目標	実績	基準との比較
17年度	130,170ト	123,170ト	126,753ト	△3,417ト
18年度	130,170ト	121,170ト	???	△9,000ト



今年度の目標！

昨年四月から今年三月までの環境貯金箱作戦の結果、ごみの量は、基準としていた平成十四年度に比べて三、四一七トンの減量でき、貯金の額は三九四万三千元となりました。

しかし、昨年度のごみ減量年間目標の七千トンに比べると、残念ながら半分にも達しませんでした。その理由としては、「生ごみの水切り」「古紙の分別」といった取り組みがまだまだ徹底されなかつたことが考えられます。

ごみ処理には、市民のみなさんの税金が使われており、最近のごみ処理経費は年間四十億円を超えています。

環境貯金箱作戦は、ごみを減らすことによる地球温暖化対策や資源の有効利用、また、税金を無駄なく使うための運動です。ごみを一トン減らすと、一、一五四円を貯金できる計算になっています。みなさんの協力によって節約できた処理経費は、秋田市の環境のための事業に活用します。

今年度は、これまで貯めた環境貯金を

ごみ処理経費を減らし みんなの貯金に

使い、秋田市民の生活様式に合った買い物用「オリジナルマイバッグ」を試作します。マイバッグの使用は、全国で年間三百億枚ともいわれるレジ袋の使用量を減らすことにつながります。

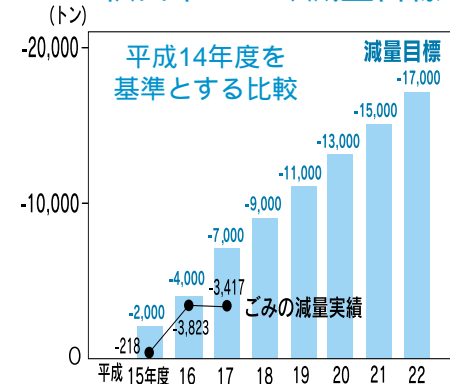
ごみ減量目標は

1人あたり1日100グラム

今年度は九千トンのごみ減量をめざします。昨年度の結果に比べると高いハードルのように思えます。しかし、最終目標としていた一万七千トンの減量も、市民一人ひとりの取り組みの積み重ねで達成できるはずですよ。

みなんでがんばり、みんなが工夫すれば、今年度の目標九千トンも、達成できそうな気がしませんか？

秋田市のごみ減量目標



問い合わせ

環境貯金箱作戦は…
環境企画課 ☎(863)6632
ごみの減量は…
ごみ減量推進課 ☎(866)2943

ごみの分け方と出し方



秋田市では、ごみを「家庭ごみ」「資源化物」「粗大ごみ」の3つに分け、収集しています。出されている家庭ごみには、リサイクル可能な資源が含まれていることがあります。きちんと分別して、ごみの減量にご協力ください。

各地区のごみ集積所や収集日は、町内会長か近所の人におたずねください。収集日は環境業務課のホームページでもご覧いただけます。

ごみ集積所には収集日の朝6時から8時までに出してください。収集日前日や収集後には、絶対に出さないでください。

種類	ごみの内容	出し方	注意する点	収集回数
家庭ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ●生ごみ(水分をよく切る) ●廃食用油(布や紙にしみこませる) ●草木類(50cm以内にして2束まで) ●衣類 ●紙おむつ ●再資源化できない紙類(写真、内側がアルミ加工のバックなど) ●ゴム・ビニール製品 ●プラスチック容器 ●プラスチック製品 ●発泡スチロール ●皮革製品 ●陶磁器くず ●ガラスくず ●蛍光灯・電球など 	白色半透明の指定ごみ袋(赤印刷)、 透明の指定ごみ袋(緑印刷)、 または 白色半透明のレジ袋・ 無色のレジ袋に入れて	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラスくず、電球、竹串など危険なものは紙に包んでなるべく袋の中央に入れるか、レジ袋に「キケン」と書いて別に出す ・生ごみを出す際は、できるだけ水切りをする ・白色発泡トレイはスーパーなどの店頭回収に協力する 	週2回
	金属類 (金属の割合が50%以上のもの)	透明指定ごみ袋(緑印刷)に入れて	<ul style="list-style-type: none"> ・家電品の電池ははずす ・判断のつかないものは「家庭ごみ」へ ・とがったものや刃物などは紙に包んで「キケン」と書く 	月1回
資源化物	空きびん ガス・スプレー缶	袋には入れず、回収箱へ	<ul style="list-style-type: none"> ・キャップははずして「家庭ごみ」へ ・中を軽くすすぐ 	月2回
	空き缶 使用済み乾電池	透明指定ごみ袋(緑印刷)に入れて	<ul style="list-style-type: none"> ・中を軽くすすぐ 	
	ペットボトル	透明指定ごみ袋(緑印刷)に入れて	<ul style="list-style-type: none"> ・ボタン型・充電型電池は販売店へ ・キャップは「家庭ごみ」へ ・中を軽くすすぐ ・塩ビボトル、食用油のボトルは「家庭ごみ」へ 	
	古紙類 ●新聞・チラシ ●雑誌 ●ダンボール ●紙バック	それぞれ分けて、紙ひもでしばる	<ul style="list-style-type: none"> ・粘着テープで束ねない ・写真・防水加工紙、内側にアルミ加工された紙バックなどは「家庭ごみ」へ 	
粗大ごみ		戸別の有料収集	受付専用電話 ☎(839)2002 平日の午前9時～午後4時	

ごみ出しは、

安全の配慮も

お願いします

ごみの回収は、職員が手で行っています。

割れたガラスや刃物など、危険なごみを出すときは、安全への配慮もお願いします。

割れたガラス、電球、せともの、竹串など

紙に包んで「キケン」と書き、指定ごみ袋に入れて「家庭ごみ」の日に出してください。

刃物やとがった金属

紙に包んで「キケン」と書き、指定ごみ袋に入れて「金属類」の日に出してください。

シンナーが

入っていた缶

ペンキなどの塗料缶と同様に、「家庭ごみ」の日に出してください。「金属類」の日に出すと、処理する時に爆発する可能性があります。危険です。

ごみ出しの問い合わせ

ごみの分け方・出し方は...

ごみ減量推進課 ☎(866)2943

ごみの収集日は...

環境業務課 tel(863)6631

http://www.city.akita.jp/city/ev/cf